

亞細亞勞働會議規約案

名稱

第一條 本會議ヲ亞細亞勞働會議 (Asiatic Labour Congress) ト稱ス
(以下單ニ會議ト稱ス)

目的

- 第二條 會議ノ目的ハ左ノ如シ
- (一) 加盟各國ニ於ケル勞働團體ノ關係ヲ一層緊密ニ發達セシムルコトニ依ツテ亞細亞諸國ノ勞働階級ノ國際的結合ヲ招來スル事
 - (二) 亞細亞諸國ニ於ケル勞働運動ノ利益及活動ヲ國內的及國際的ニ發展助長セシムル事
 - (三) 亞細亞諸國ノ勞働團體ノ爲メニソノ一般の利益ヲ招來スベク活動スルコト
 - (四) 亞細亞諸國ノ勞働者ニ課セラレタル差別的待遇ヲ除去シ人種、國籍ノ相違ニ拘ラズ勞働條件ノ平等待遇ヲモテラス事
 - (五) 外國ノ主權下ニアル亞細亞諸國ノ勞働者ノ搾取ヲ絶滅スル事
 - (六) 亞細亞諸國ニ現存セル不平等ヲ除去シ、社會立法ガ既ニ充分ニ發達セル國ニ於ケル勞働狀況ニ此等法ヲ向上スル事ニヨツテ亞細亞人ノ生活及勞働條件ヲ改善スル事
 - (七) 戰爭ヲ防止シ國際的平和ヲ確立シ帝國主義及資本主義ト抗爭スル事

目的達成の方法

- 第三條 本會議ハ民主主義的及一般ニ認メラレタル勞働組合主義的方法ニヨツテ左記事業ヲ行フコトヲ目的トス
- (一) ソノト協カスルコトガ亞細亞諸國ニ於ケル勞働運動ノ爲メ利益ナリト思惟サル、他國際團體トノ協力
 - (二) 各加盟國ニ於ケル勞働團體ノ全國的中心ヨリ希望サレタルトキニ於ケル其ノ國ノ勞働運動ニ對シテ援助
 - (三) 本會議ニ未加盟ノ亞細亞諸國ニ於ケル勞働運動ノ功成
 - (四) 亞細亞諸國ニ於ケル勞働階級ノ生活及勞働運動ニ關スル報告、蒐集及ソノ統計ノ作成
 - (五) 定期刊行物、勞働條件ニ關スル報告、ソノ他本會議ノ目的ヲ實現スルニ有効ナリト信セラレ、書類ノ發刊

組織

- 第四條 本會議ハ會議ノ目的及方法ヲ承認スル亞細亞諸國ニ於ケル勞働團體ノ全國的中心 (National Trade Union Centre) ヲ以テ組織スルモツトス
- (註) 全國的中心トハ亞細亞諸國ニ於ケル「會議」、「Congress」、「Federation」、「代表の勞働團體」恒久的の協議機關「Joint Council of the most representative Labour Unions」ヲ云フ
- 第五條 亞細亞ノ或レ國ニ於テソノ勞働團體ノ全國的中心ノ決定困難ナトキハ會議ノ年次大會ハ第四條ノ精神ニ基キソノ決定ヲナス、關係當事國ハ此決定ニ基キ年次大會ニ出席スルコトヲ得
- 第六條 加盟國ノ勞働運動ハソノ自主權ヲ保護サル

執行機關

- 第七條 大會々期外ニ於ケル本會議ノ事業ハ執行委員コレヲ執行ス
- 第八條 執行委員ハ本會議ノ主義及大會ノ決議ヲ尊重シコレニ違反スルコトヲ許サズ
- 第九條 (一) 執行委員ハ議長一名、副議長一名、主事一名ヲ以テ構成スル
(二) 執行委員ハ少クモ三回會議ヲ開クヘシ、主事ハ會議ノ議事録ヲ作成シコレヲ加盟各國ニ送附スベシ
(三) 執行委員ハ附屬ハ滿三ヶ月前ニ通知サルベシ
(四) 執行委員出席シ能ハザルトキハ議題ニ對スル委員ノ意見ハ廻狀ニヨリ送附サルベシ

大 會

- 第十條 緊急ノ場合ニ於テハ議長及主事ハ必要ナル行動ヲトリ執行委員會ノ爾後承認ヲ求ムル事ヲ得
- 第十一條 大會ハ前年度大會ニ於ケル決議ニ基キ大體ニ於テ四月ノ末又ハ五月始メ印度、日本、支那又ハ亞細亞ニ於ケル其ノ他ノ國ニ於テ開カレバ可シ若シ前年度大會ニ於テ決定サレザリシトキハ執行委員會ハ加盟各國ニ於ケル勞働團體ノ全國的中心ノ協議ノ上ニ於テ決定スレザリシトキハ大會ハ執行委員及左ノ比例ヲ以テ加盟各國ヨリ選出サル、代議員ヨリ成ル
- (一) 總計一萬人迄ノ組織勞働者ニ對シ一名ノ代議員
 - (二) 十萬人ニ對シ三名
 - (三) 十萬人以上ハ各五萬人毎ニ一名ヲ増加ス、一ツノ國ノ全國的中心ヨリ選出シ得ル代議員ノ最大數ハ十名トス
 - (四) 代議員ヲ選出スル代議員ハ自己ヲ代表スル任シ、ソノ國ノ勞働組合ノ幹部又ハ組合員タルヲ要ス
 - (五) 大會ニ出席スル代議員ハ自己ヲ代表スル任シ、ソノ國ノ勞働組合ノ幹部又ハ組合員タルヲ要ス

- 第十二條 大會決議ハ左ノ如シ
- (一) 執行委員會ノ年次報告ノ討論
 - (二) 國際勞働總會ノ決議ノ討論
 - (三) 加盟各國ノ全國的中心ヨリ提出サレタル決議ノ討論
 - (四) 執行委員ノ選舉
 - (五) 全國的中心ノ本會議ヘノ加盟、脫退及除名ノ決定
 - (六) 規約及議事規則ノ改正
 - (七) 次年度大會日時場所ノ決定

加 盟

- 第十三條 加盟各國ノ全國的中心ハ次ノ比例ニヨリ本會議ヘノ加盟費ヲ收ムヘシ、最低加盟費ハ五十留比トス
- (一) 總計一萬人以下ノ組織勞働者ヲ有スル全國的中心ハ五十留比
 - (二) 一萬人ヨリ五萬人迄ハ百留比
 - (三) 五萬人ヨリ十萬人迄ハ百五十留比
 - (四) 十萬人以上ハ二百留比

費 用

- 第十四條 (一) 大會ニ出席スル代議員並ニ執行委員會ニ出席スル執行委員ノ旅費、宿泊費及其ノ他ノ雜費ハ代議員及執行委員ノ自辨トス
- (二) 大會及執行委員會ニ要スル費用ハ可及シテ本會議ノ積立金ニ於テ支辨ス
- (三) 但シ不足ヲ生ズルトキハ加盟國ニ於テ追加支辨スルモノトス

脱 退 及 除 名

- 第十五條 加盟各國ノ自發的脫退ハ常ニ六ヶ月ノ豫告ヲナシタル後ソノ年度末ニ於テ有効トス
- 第十六條 左ノ條項ニ該當スルトキハ如何ナル加盟國ノ全國的中心ト雖モ除名サル、モノトス
- (一) 屢次ノ警告ニ拘ラス又特ニ與ヘラレタル猶豫期限ノ經過シタルニ拘ラス加盟費ヲ收メザル時
 - (二) 著シキ規約ノ違反又ハ本會議ノ主義及決議ニ背キタルトキ

總 則

- 第十七條 本規約ハ本會議ノ本部ハコレヲ日本ニ置ク
- (一) 日本以外ノ加盟國ニ於ケル全國的中心ノ本部ハ其ノ國ニ於ケル本會議ノ支部トナルベシ
- 第十八條 本規約ハ大會ニ於テソノ出席代議員三分ノ二ノ多數ニテ修正サカシ
- 第十九條 本規約ハ一九二九年九月二日印度孟買ニ開カレタル日印準備協議委員會ニテ協定サレ、同年十二月十一日東京ニ於テ開カレタル勞働立法促進委員會ニテ修正サレタル日本側最後案

注 意

本規約ハ一九二九年九月二日印度孟買ニ開カレタル日印準備協議委員會ニテ協定サレ、同年十二月十一日東京ニ於テ開カレタル勞働立法促進委員會ニテ修正サレタル日本側最後案